

アメリカカクスイトビケラ

Brachycentrus americanus

カクスイトビケラ科



アメリカカクスイトビケラ。
左が携巢から出した幼虫、右が携巢に入っている幼虫

名前の由来

アメリカにも生息する角錐型の筒巢を作るトビケラという意味と考えられる。トビケラの由来は不明。

漢字名：アメリカ角錐飛蠅

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原)
鳥類
シタカ

形態的特徴

幼虫の特徴：大きさは12mm程度。蘚苔類やバイカモなど水草を角錐型（かなり角張った形）に組み合わせた筒巢を作る。腹部の各体節にある気管鰓は分かれなくて1本の棒状。

類似種と見分け方：エゾマルツツトビケラ。

エゾマルツツトビケラは円筒型の筒巢を作る。



アメリカカクスイトビケラ。水中の携巢に入っている幼虫

生息環境・分布

蘚苔類やバイカモが茂る流水に生息する。

内では、本州以北に分布。北海道では、普通に分布。

分布：国外分布は、北米・中国・シベリア・モンゴル。国十勝地方では、普通に分布。

食性・他の生物との関わり

蘚苔類やバイカモなど水生植物を食べる。

魚類などの餌となる。

興味深い話

- 場所によってはかなり多く見られる種である。ムイ」という。
- 携巢ごとニジマスに大量に食べられていることがある。
- 十勝地方のアイヌ語ではトビケラ類幼虫を「ウォルンカ

繁殖生態・寿命

5～9月に産卵する。一年一化(一回発生)

配慮事項

蘚苔類やバイカモなどが豊富に存在する環境が重要。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵期・幼虫期	■											
成虫期						■						

参考文献

「アングララーのための水生昆虫フィールドノート」宮下力 出版文化社 2000

「知里真志保著作集 別巻Ⅰ 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編」知里真志保、平凡社 1976

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995